

# 図書館便り

2014年度 14号 発行 2015/02/04

## あっという間に学年末ですね。

こんにちは、学生図書委員会です。遅いと言われた前回の図書館便りよりも更に遅い2月の発行となりました。2月に入り高専中がテストモードになってきていますね。テスト期間中に高専の一般入試もあるようで、自分が進級のために勉強している間に新しい高専生が決まってくるのかと思うと少し不思議な気分になります。テストが終わると長い春休みがきます。次の学年になるための準備をしなければなりません。一年生は後輩が入るのでカッコいい先輩になりましょう。3年生は私服登校が始まるので着ていく服を準備した方が良いでしょう！そして4年生は最後の年となります。有終の美を飾れるように身を引き締めて残りの一年間をどのように過ごすのかしっかりと計画を立てましょう！！そろそろ図書委員会の話を始めますね…。

今年度も積極的な図書委員の皆さんのおかげで多くの活動ができました。忙しい中、図書委員会のイベントに参加して下さった図書委員、一般の学生の皆さん、穴井先生、田中美穂先生を初め多くの先生方本当にありがとうございました！しかし、多くの活動を行ったにも関わらず活動について一般の多くの学生に伝えることができていませんでした。そこで、この図書館便りの中で今年度の活動について紹介し、2014年度図書委員会の最後の仕事としたいとおもいます。

今年度はブックハンティングを2回、読書会を2回、貸出上位者・クラス賞および読書感想文コンクール、韻文コンクールの表彰式を行いました。それでは、それぞれのイベントについて紹介していきたいと思います！！



## 読書会

開催日 2014年7月8日(火)

以下の2冊を課題図書とし、事前に読んできてもらい意見交換を行いました。

『カラフル』森絵都 テーマ:人生のリセットとは

『世界の日本人ジョーク集〜』早坂隆 テーマ:世界からみた日本人

出席してくれた学生は18名と、前回に比べ2倍以上の方が参加してくれました。一部の感想と図書委員の感想を以下にまとめます。



『カラフル』

### 一部の感想

- ・客観的にみるとそこまでたいしたことのない事でも、いざ自分のこととなると一歩踏み出せない。もっといろんなことにチャレンジしようと思う。
- ・過去に、瞬間的にリセットしたくなることはあったが、長い目でみるとあの時の自分があったから今こうして生きているのだと思う。

『世界の日本人ジョーク集』

### 一部の感想

- ・日本が外国の人からどのように見られているのかが知ることができた。自分が想像しなかったことも書かれていてとても面白かった。
- ・それぞれの国の文化についてもふれていて、勉強になるところもあった。

2冊とも、読んでいて心が温かくなるような そんな内容でした。

Interesting な本の世界を皆さんも経験してみませんか。

(3年 都市環境工学科 山田麻矢)

開催日 2014年11月7日(金)

前回の様に課題図書を決めて意見交換をするのではなく今回の読書会では“ビブリオバトル”を行いました。

ビブリオバトルとは誰かに薦めたい本を持ち寄って5分間、話術と身振り手振りで本を紹介してもらい、一番読みたくなった本“チャンプ本”を決めるゲームです。

優勝したのは“叡智の断片”(著:池澤夏樹)で準優勝は“バチカン奇跡調査官”(著:藤木稟)となりました。





叡智の断片は名言集、バチカン奇跡調査官はミステリーでしたが、その他の高専生が紹介してくれた個性的な本は多種多様で、恐らく自分からは読むことがなかったのでは？と思うような本を多く知ることができました。POPよりも詳しく、本の評論よりも堅苦しくなく、同じ年代の人が感じた気持ちを聞くことができ本に対する視野が広がったように感じます。

読書会は堅苦しいイメージや本を年中読んでいる人が参加するようなイメージを持っている方もいるかもしれませんが、久しぶりにケーキ食べたいくらい気持ちで参加しても楽しめる会です。来年度の読書会も多くの方の参加をお待ちしています！

(4年 電気電子工学科 平野瑠唯)

## 貸出上位者・クラス賞、読書感想文コンクール、韻文コンクールの表彰式



開催日 2015年1月28日(水)

昨年度は多読者賞の表彰式のみでしたが、今年度は感想文コンクールが復活だけでなく新たに韻文コンクールも行い表彰式には多くの学生、先生方に出席していただきました。

多読者賞を受賞された方々の話を聞くと小説や物語を借りている方ばかりではなく、雑誌を多く借りて受賞された方や参考書を借りて受賞された方などが多いことを知り驚きました。高専の図書館には小説や物語だけでなく雑誌や参考書、専門書が多くあります。本を読む趣味がないかたも勉強や情報収集の一つとして図書館の本に触れてもらいたいと思います。特に参考書についてはブックハンティングで数名の学生が資格やTOEICのテキストを入れているので本を購入する前に参考にしてみてはいかがでしょうか？また、表彰式では韻文コンクールは各部門の最優秀賞の方のみの表彰となりましたが、“もさく”に掲載されている入選作品はどの作品も詠んだ方の気持ちや見ていた風景が伝わって来るような作品が多く、完成度の高い作品がたくさん載っているのみなさんもぜひ読んでみて下さい。

## ブックハンティング

開催日 2014年5月27日(火)、2014年11月12日(水)

ブックハンティングとは参加した学生が図書館に入れたい本を自由に選び図書館が購入するイベントです。今年度は春と秋の2回行いました。小説や文庫本を入れる学生が多いですが、専門分野の資格試験のテキストやTOEICの参考書、スポーツや音楽などについての参考書など様々な本が今年度も図書館に入りました。私もミステリーや数学の問題集、数学小説など自分の好きな本や興味のあることについての本を選びました。ブックハンティングに参加してもらった学生には一枚ずつPOPを書いてもらいました。現在、秋に行ったブックハンティングのPOPを図書室の入り口に掲示しているので時間があるときにぜひ読んでみて下さい！！



こうして一年間の活動を振り返ってみると読書を通して様々な活動ができたことを改めて感じます。今年度前期、後期、通年図書委員を務めて下さった皆さんお疲れ様です。図書委員に限らず来年度も読書、テスト勉強、資格試験の勉強などで図書館を活用してください。また、読書が好きなかたは来年度の読書会への参加お待ちしております！！